ボーリング柱状図

※掘削範囲は、概ねAP+1.0mまでである。

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その7）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	C-26別孔	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内（豊洲新市場予定地：6街区）			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場　管理部　新市場建設課			調査期間	平成 19年 9月 5日 ～ 年 月 日	東経	
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 電話（03-5632-6827）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	AP +4.29m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°
総掘進長	3.30m	使用機種		試錐機	YSO-1	ハンマー落下用具	
				エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	カノーV6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	2.99	1.30	1.30		礫混じり砂	褐			礫混じる
	2.69	0.30	1.60		砂	暗褐			
2	1.59	1.10	2.70		シルト混じり砂	褐			雲母混入 含水多い
3	0.99	0.60	3.30		砂	暗褐			貝殻片混入　礫混じる 含水多い

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
									0.30	C-26 ①		土壌溶出／ω	9/5
									1.30	C-26 ②		土壌溶出／ω	
									2.30	C-26 ③		土壌溶出／ω	
									3.30	C-26		土壌溶出／ω	
									3.60				

ボーリング柱状図

※掘削範囲は、概ねAP±0mまでである。

調　査　名　専門家会議の運営に係る調査委託（その7）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	D－6別孔	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内（豊洲新市場予定地：6街区）			北　緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場　管理部　新市場建設課			調査期間	平成 19年 9月 8日 ～ 年 月 日	東　経	
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 電話（03－5632－6827）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	AP +4.06m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	4.00m							

試錐機	YSO－1	ハンマー落下用具	
エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	カノーV6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	3.46	0.60	0.60		埋土	灰			コンクリートガラ
1					埋土（シルト混じり砂）	暗灰			貝殻片混じる
2	1.56	1.90	2.50						礫混じる
3	0.46	1.10	3.60		埋土（シルト混じり砂）	褐			
4	0.06	0.40	4.00		シルト	暗灰			

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
									0.20				
									1.00	D-6 ①			
									2.00	D-6 ②			
									3.00	D-6 ③			
									4.00	D-6 ④			9/8

ボーリング柱状図

※掘削範囲は、概ねAP±0mまでである。

調査名　専門家会議の運営に係る調査委託（その7）

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	F-22別孔	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内（豊洲新市場予定地：6街区）			北緯	
発注機関	東京都　中央卸売市場　管理部　新市場建設課			調査期間	平成 19年 9月 10日 ～ 19年 9月 11日	東経	
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 電話（03-5632-6827）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	AP +3.77m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°
総掘進長	4.00m	使用機種		試錐機	YSO-1	ハンマー落下用具	
				エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	カノーV6

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	3.27	0.50	0.50		埋土(砂礫)	灰			
1					埋土(シルト混じり砂)	暗灰			貝殺片混入する 礫混じる 腐植物多い
2									GL-2.40m付近よりシルトはさむ　含水多い
3	0.77	2.50	3.00		埋土(シルト)	暗灰			
4	-0.23	1.00	4.00						

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
									0.00				
									1.00	F-22 ①			
									2.00	F-22 ②			
									3.00	F-22 ③			
									4.00	F-22 ④			9/10